

管内	氏名	内 住 所
県北	遠藤 千代	伊達郡霊山町大字石田字大小22
〃	菊地 キ	安達郡本宮町大字高木字石崎87
県中	村上 栄美	郡山市中田町中津川字町42
〃	深谷 常子	須賀川市大字松塚字田中65
〃	五十嵐 クラキ	石川郡石川町北町86の3
〃	佐藤 美智	田村郡小野町大字小野新町字中通り
県南	高野 エ	白河市字田町130 <sup>129</sup>
〃	高野 智	東白川郡矢祭町東館字上野内38
会津	秋山 タケヨ	会津若松市一箕町大字鶴賀字船森4
〃	今月 ハル子	喜多方市上三宮
〃	月本 ハル子	河沼郡柳津町大字柳津
南会津	松田 静子	田島町大字福米沢字下川原617
いわき	菅波 ミノル	いわき市平旧城跡32の5
相双	渡佐 洋子	原町市本町一丁目
〃	鈴木 タイ	双葉郡双葉町新山字広町3

### (3) 効果

婦人学級・家庭教育学級・婦人団体等の学習活動推進のよき助言者として活用され、効果をあげている。

## 10. 文部省委嘱・県研究婦人学級

(1) 婦人学級の学習機会の拡大と、学習内容・方法の充実を期するため研究を委嘱した。

### (2) 学級名

#### ① 文部省委嘱婦人学級（5学級）

ア、20万円学級(1学級)謝金 130,000 円  
庁費 70,000 円

郡山市熱海ルピナス婦人学級

イ、10万円学級(4学級)謝金 65,000 円  
庁費 35,000 円

小高町消費生活婦人学級 家庭の消費生活

いわき市常磐職場婦人学級 家庭の生活設計

白河市民生活婦人学級 婦人の市民生活

東和町南戸沢婦人学級 婦人の市民生活

ウ、婦人奉仕活動促進方策 家庭の生活設計

予算 742,000

会津若松市婦人ボランティア講座

#### ② 県研究婦人学級（県費 1.5万円）

月館町婦人学級 統計資料の活用

郡山市片平若妻学級 //

滝根町滝根婦人学級 //

大信村大信 //

柳津町研究 //

只見町只見 //

いわき市植田婦人学級 //

### (3) 効果

今年度は委嘱学級数が少なくなったが、個性のある運営と学習方法の研究に創意のある成果をおさめた。

特に全国10市に委嘱された婦人奉仕活動の促進研究に、会津若松市の実践の歩みが、新規開拓の役割を果たすものとして全国に発表された。

さらに県研究婦人学級は、情報化時代における学習方法の研究として、統計資料を活用した学習のすすめ方の研究を委嘱し成果をあげた。

## 11. 文部省委嘱・県研究婦人学級研究協議会

### (1) 目的

婦人教育の学習の機会の拡大と学習内容・方法の充実を期するため、婦人学級の開設運営について、文部省委嘱婦人学級・県研究婦人学級に研究を委嘱し、波及効果をはかっているが、その学級が適正に運営されるよう、学習のすすめ方、事務の扱い方について研究協議する。

### (2) 期日・会場

① 期日 昭和46年6月4日(金)

② 会場 福島市・県庁3階厚生文教委員会室

### (3) 参加者

委嘱・研究婦人学級事務担当者 14名

### (4) 内容

① 講義 統計教育について

② 研究協議

「委嘱にともなう学習のすすめ方ならびに学級の運営」

③ 事務連絡

「委嘱にともなう事務について」

「委嘱にともなう経理事務について」

### (5) 効果

事務担当者により具体的な事項について研究協議されたので、事後の運営・事務が適正・敏速に行なわれた。

## 婦人教育問題研究会

### (1) 趣旨

婦人の生活の現状を分析し、問題点を研究協議し、学習活動に団体活動に自主的な活動を助長促進するよう、その行政方策を協議する。

### (2) 期日・会場

① 期日 昭和46年11月9日～10日

② 会場 福島市市民センター 県婦人会館

### (3) 参加者

市町村婦人教育担当者 115名

### (4) 内容

① 研究部会 2部会

ア、都市における婦人教育活動の問題点について

イ、農村における婦人教育活動の問題点について

② 全体研究

ア、主 題 「市町村における婦人教育の拡充策」

イ、部会報告

ウ、課題別研究

### (5) 効果

婦人団体育成の方向・婦人学級拡充の方策等について具体的に研究協議され、成果を納めた。

## 13. 協力して行なった他の婦人関係事業

### (1) 第23回婦人週間福島県婦人のつどい

#### ① 趣旨

婦人週間の趣旨を広く一般に浸透させるとともに、婦人の自主的な活動を促すために開催する。

#### ② 主 題

「今日に生きる女性」

——その母性としての権利と責任——